

委員会・地元意見への対応

①第1回専門委員会 委員からの質問等への対応

発言者	整理番号	意見の要旨	意見に対する対応
中村委員	①-1	<p>・委員会の目的は、専門的な立場で検証するということだが、そういう委員会であればある程度専門家として検討する資料がほしい。</p> <p>例えばこの30年間で神戸川漁協での放流量や漁獲量等の資料を提供していただきたい。</p>	<p>・次回の委員会において、神戸川漁協の漁獲量の実績、放流量の実績について、データをお示しする予定です。</p>
中野委員	①-2	<p>・黒い水について、水が黒いのか、石が黒いのか、あるいはほかの原因があるのか、もう少し専門的な立場でデータを出してもわからないと解析できない。解明できるようなデータを出してほしい。</p>	<p>・本日の委員会において、【資料-3-1】により、第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会での、神戸川における「黒っぽい水」に関する着色水調査結果、「コケ」に関する河川内への付着物調査結果及び、外来種である「カナダモ類」水草調査結果をお示します。</p>
	①-3	<p>・志津見ダムから河口域までどの地点で水質のデータをとっているのか知りたい。とっていないければ、環境、生物、水質などのデータをとっていただきたい。</p>	<p>・来島ダムから河口において、前回の委員会でお示した、八神、上橋波、野土橋、上乙立橋、馬木の5地点で水質データをとっています。この他、今回の委員会において、【資料-3-2】により、来島ダム湖内の2地点（潮発電所取水口付近および上流部）及び、来島ダム上流の大野橋、野萱の2地点で水質データをお示します。生物については、魚類、底生生物、付着藻類について、次回の委員会で調査結果をお示しする予定です。</p>

委員会・地元意見への対応

②第2回専門委員会 委員からの質問等への対応

発言者	整理番号	意見の要旨	意見に対する対応
中野委員	②-1	・SSあるいはBODについては、測定値と流速や流量等と対応させることにより、もっとはっきりとした結果が出るのではないか。	・本日の委員会において、【資料-3-2】により、馬木地点における水質に関するSSやBODなど7項目の観測データについて、流量との関係をグラフ化したものをお示しします。
中村委員	②-2	・水質と流量の関係について検討できるのか。	・②-1 と同じ
檜谷委員	②-3	・現状の志津見ダムの放流運用と、来島ダムの放流運用に違いがあるが、どう考えているか。	・本日の委員会において、【資料-2-1】により、現時点における志津見ダムの運用について補足し、お示しします。
	②-4	・馬木地点での確保流量の不足日数の表で、不明となっているところは、実際はどのような運用をしていたのか。	・本日の委員会において、【資料-2-3】により、不明となっていた馬木地点での流量データについて、国土交通省の保有する水位データから「H-Q式」を用いて復元した流量及び、その期間の来島ダムの放流の状況についてお示しします。

委員会・地元意見への対応

③現地視察時の地元住民意見(上橋波)からの疑問点等への説明

整理番号	意見の要旨	意見に対する対応
③-1	<p>・上流からきれいな水が流れているのに、下流まで届かず潮発電所に流れている状況。</p>	<p>・来島ダムから河口において、前回の委員会でお示した、八神、上橋波、野土橋、上乙立橋、馬木の5地点で水質データーをとっています。この他、今回の委員会において、【資料-3-2】により、来島ダム湖内の2地点(潮発電所取水口付近および上流部)及び、来島ダム上流の大野橋、野萱の2地点で水質データーをお示します。</p>
③-2	<p>・ここ10年ぐらい前からうるんだ水が出てきて川底が黒くなってきている。</p>	<p>・①-2 と同じ</p>
③-3	<p>・鮎釣りの漁場だったがとれなくなっている。</p>	<p>・①-1 と同じ</p>
③-4	<p>・川辺に立つと少し臭いがしたり、用水路の中にコケが生えてきたりしている。</p>	<p>・本日の委員会において、【資料-3-1】により、第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会での、神戸川における「黒っぽい水」に関する着色水調査結果、「水路のドベ」に関する農業用水路内の藻類調査結果をお示します。</p>

委員会・地元意見への対応

④第2回専門委員会での意見発表者の意見における疑問点への対応

発言者	整理番号	意見の要旨	意見に対する対応
深井氏	④-1	・平成10年以降だと思われるが、ダムの底水が出るという話があるようになった。志津見ダムができれば水質が改善されるだろうと期待しているが、解消されず、澱んだ状況と川面が黒くなった状況になっている。	・①-2 と同じ
	④-2	・環境放流される堰堤付近の水は長期貯留水であり、取水口が堰堤上流3kmとかなり上流にありこれが水質悪化の最大の原因ではないか。	・①-2 と同じ
岩崎氏	④-3	・斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを通して、10年前とここ1～2年を比較すると、精度の問題はあるが、神戸川の水質は少し悪くなっている。	・③-1 と同じ
林氏	④-4	・馬木において多くの記録がないとのことだが、県は河川管理者としての責任を果たせていないのではないか。	・②-4 と同じ

欠席委員の意見・コメント

⑤第3回専門委員会 欠席委員意見等

委員	整理番号	項目	内容
大谷委員	⑤-1	・農業・漁業関係者へのヒアリングについて	・ヒアリングの際に、臭いについては、「ガス臭」もしくは、「カビ臭」なのかは、確認しておいていただきたい。
	⑤-2	・第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会結果について	・COD、BODの値が春から夏にかけて高い傾向にあるため、今後とも注意すべき。
	⑤-3		・「コケ」「ドベ」「藻」という表現は分かりにくい。生物学分類に沿った形で、誰が見ても分かりやすい表現の方がよい。
	⑤-4	・地元の協力体制について	・黒っぽい水が出た時など、地元事前に容器を渡しておいて、すぐに採取できるような体制も必要。